

# むくのきだより 7月号



令和3年6月30日 港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人

皆で創り上げた「あかばねこどもまつり」

園長 宮崎 直人

暑さが日ごとに増して、園庭の植物やプランターのアサガオ、夏野菜もぐんぐん伸びています。ズッキーニ、ナス、インゲンに続いてキュウリやミニトマトも食べ頃になりました。スイカにも小さな実が付きました。子供たちは、収穫を楽しみにしています。

さて、6月30日（水）に、「赤羽こどもまつり」を行いました。昨年度は、新型コロナウイルス感染予防のため開催できませんでしたので、ゆり組も、さくら組も、初めてのお祭りです。ゆり組の子供たちも、さくら組の子供たちも、とても張り切って準備をしていました。飯倉保育園の子供たちやひよこっこの子供たちが来てくれたことで、お客さんに喜んでもらう楽しさを味わうことができたのではないかと思います。

さくら組の子供たちは、「わくわくやさん」を行いました。お店の商品は、皆で一生懸命に作った「ネックレス」と「望遠鏡」、そしてお家の方と一緒に作った「おさかなけんだま」です。「いらっしゃいませ！」と、大きな声でお客さんにアピールしていました。日頃から遊びで楽しんでいるものを素敵な商品としてお店に並べる満足感、お祭りのお店を回る楽しさ、たくさんの気持ちを味わった一日となりました。



ゆり組の子供たちは、「すきすき たのしい まとあてげ一む」と「どうぶつ かくれんぼげ一む」を行いました。自分たちで繰り返し遊びながら、友達と一緒に工夫し、考えたゲームをお客さんに分かりやすく説明してくれました。ゲームのやり方を考えることは、相手の気持ちを考えたり、実際の動きをイメージしたりすることが必要で、子供たちにとって簡単なことではありません。ゆり組の中でお客さんとお店の係の人に分かれて何度か練習をしたり、「何か困ったことはなかった？」と何度も話し合いをしたりしながら準備を進めてきた活動でした。

当日は張り切ってお客さんを案内したり、やり取りを楽しんだりしながらお店を運営する姿が見られ、年長組の成長を改めて実感しました。

これらの経験を、今後の保育に生かしていきたいと思います。ご支援・ご協力をありがとうございました。



保護者の皆様、地域の皆様が担当して下さったお店も大好評でした。ご協力をありがとうございました。



日にちは前後しますが、6月25日（金）には、延期していた「離任式」を行いました。前副園長 佐々木 勝世 先生と、金木 麻美 先生が赤羽幼稚園に来てくれました。子供たちは、久しぶりに先生方に会うことができ、とても嬉しそうでした。幼稚園の園庭で咲いていた花を押し花にしてファイルを作り、メッセージと手作りの花束を添えてお渡しました。また、子供たちがずっと「先生たちと踊りたい」と言っていた「ねこまるだいすき いつまでもともだち」を踊り、楽しいひと時を過ごしました。

1学期も残り3週間となりました。これからも楽しい経験を積み重ねることができるよう、保育を進めていきたいと思ひます。

